

第6章 施設整備計画（西部分所）

1 敷地及び周辺状況

- 旧西部障害者福祉会館（1階建）の建物全体を改修し使用する。

（1）敷地概要

- ①所在地 : 北九州市八幡西区若葉1丁目8番1号
- ②敷地面積 : 3,944.13㎡
- ③用途地域 : 第一種住居地域、第一種中高層住居専用地域
建ぺい率70%（角地による緩和10%を含む）
容積率200%

【敷地概要図】



(2) 周辺状況等

1) 立地環境等

北九州市の西部（八幡西区）にある筑豊電鉄今池駅から直線で約400メートルの距離にある。

敷地周辺には、教育施設を中心に、閑静な住宅街が広がっている。また、東には皿倉山を望む立地であり、療育に適した環境となっている。

2) 交通アクセス

最寄駅は、筑豊電鉄今池駅（徒歩約5分）及び筑豊電鉄永犬丸駅（徒歩約16分）、また、付近の主な道路は、一般国道200号線、北九州都市高速道路4号線である。

3) 周辺施設等

敷地周辺は、住宅地であることから、教育施設やコミュニティ施設等が複数設置されている。

主な施設

<今池駅周辺>

- 竹末小学校
- 引野小学校
- 鷹の巣幼稚園
- 八幡特別支援学校
- 北筑高等学校
- 竹末市民センター
- 引野ひまわり学園

<永犬丸駅周辺>

- 永犬丸小学校
- 永犬丸中学校
- 八幡西特別支援学校
- 八幡南高等学校

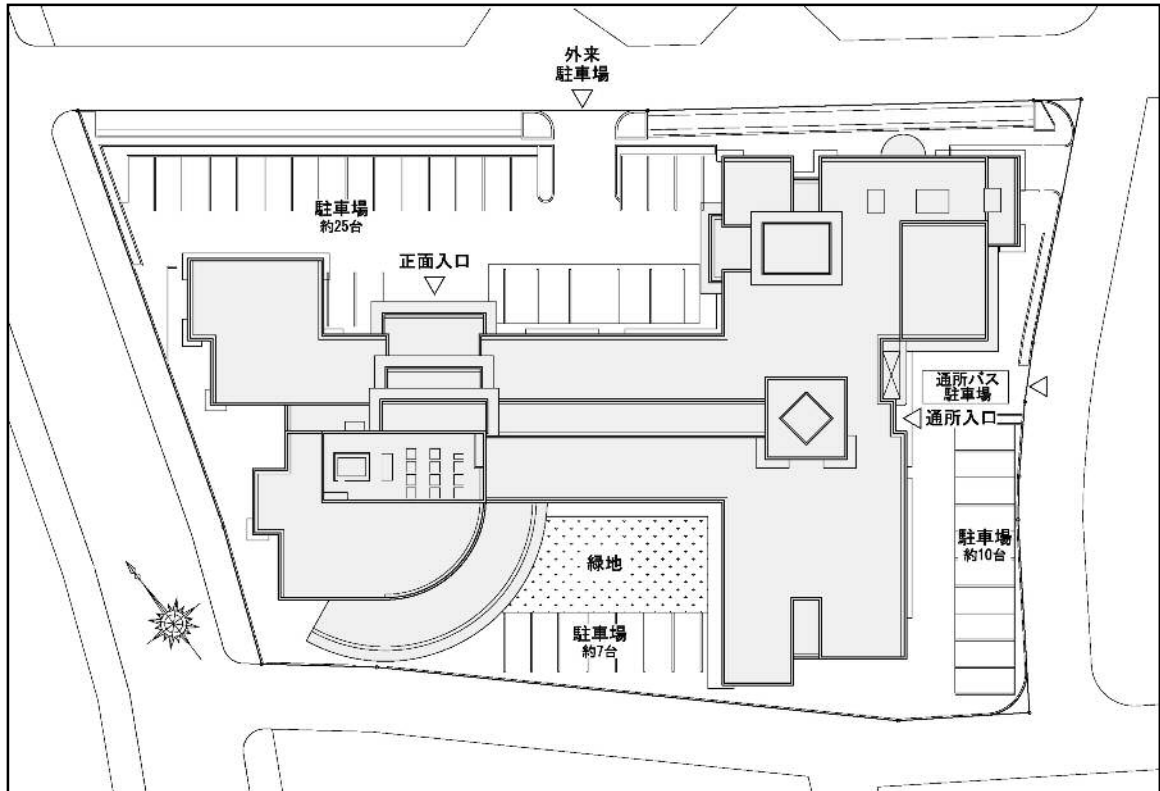
2 配置計画

(1) 全体配置計画

- 敷地へのアプローチは、北側に接道している市道若葉13号線からとする。
- 現在中庭となっている南側の一部に通所用の緑地を整備する。
- 利用者用駐車場を、西側を除く建物の周囲に整備する（約42台）。また、東側に通所バス用駐車場を整備する。

- 延床面積は、1,874.81㎡以内とする。（原則として増築は行わずに既存建物を改修）
- 延床面積の内訳は、下表を目安とし、今後、改修設計時において、更に精査していくのものとする。

【配置図】



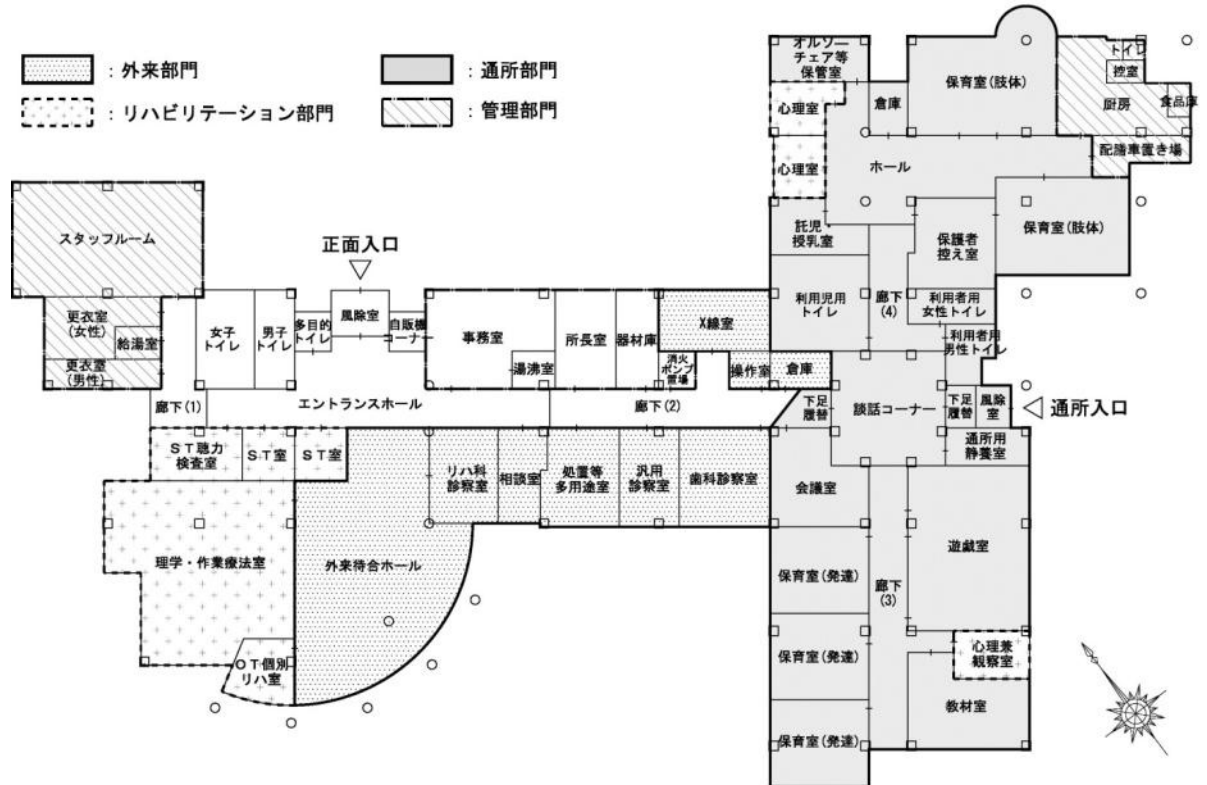
【部門別面積】

部門名	計画面積	摘要
外来	約 350 ㎡	診察室、処置室、待合ホール等
リハビリ テーション	約 230 ㎡	理学・作業・言語聴覚・心理療法室等
通所	約 740 ㎡	保育室、遊戯室、保護者控え室、会議室等
管理	約 330 ㎡	スタッフ諸室、機械室、倉庫、厨房等
共用部	約 220 ㎡	エントランスホール、廊下等
計	約 1,870 ㎡	

1) 各部門配置計画

利用者動線の交錯などを防ぐため、建物西側を主に外来・リハビリテーション・管理部門とし、東側を通所部門として、ゾーニングする。

【部門別ゾーニング（案）】



(2) イメージパース

【外観イメージパース】



3 建物整備計画

(1) 動線計画

利用者の利便性、安全性を考慮し、外来と通所それぞれに専用玄関を設け、動線が交錯しないよう配慮する。

(2) 構造計画

既存の構造計算書に基づき、既存の躯体をできるだけ解体しない諸室配置とし、かつ、不特定多数が利用する公共施設であることを考慮し、地震、暴風、積雪等の自然災害の発生などに対する安全性を充分確保した構造計画とする。

(3) 設備計画

各種設備は、安定性・経済性及び保守の容易性を念頭におきながら、患者や来院者、スタッフにとって良好な環境を提供するとともに、災害時においても最低限必要なエネルギーの供給が確保できるよう整備する。

また、経営の健全化の観点から、初期投資を抑え、かつ省エネルギー型の設備を積極的に導入し、維持管理費を抑制するとともに、環境負荷の低減を図る。

1) 電気設備計画

大規模地震等の災害時でも3日間(72時間)を目処に医療機能を維持できるように、電源を確保するとともに、LED照明等を採用するなど省エネルギーを推進できる設備を整備する。

また、新総合療育センター(本体)の情報システム稼働後に、西部分所の情報システムとも接続することを想定し、必要な部分に情報用配管を敷設する。

2) 空気調和設備計画

体温調節の困難な子どもに配慮するとともに、エネルギーロスを減らすためできるだけ個別コントロールできる空調システムを導入する。

また、メンテナンスのしやすい機器を採用する等、維持管理費が抑えられる設備を整備する。

3) 給排水衛生等設備計画

節水に配慮し、メンテナンスのしやすい設備を整備するとともに、雨水の有効活用を検討する。また、給湯方式に太陽熱を利用したシステムを検討する。

(4) 防災計画

火災感知器、スプリンクラー、自動火災警報装置、非常用放送設備等を適切に設けるとともに、施設内の防災・保安状態を一元管理するために、電気・空気調和・防災設備等の運転状態等を中央監視設備で監視する。

(5) 駐車場整備計画

駐車場は、外来駐車場は正面入口側の駐車場を利用し、通所駐車場はその他の駐車場を利用することで、車輛動線が交錯しないよう配慮する。

また、障害児（者）の乗降や雨天時の利用等に最大限配慮した駐車場を整備する。

4 医療機器及び情報システム整備

(1) 医療機器

1) 整備方針

各部門において医療機器の運用方法を検討のうえ、各部門が有効に利用できる機種を選定するとともに、効率的な利用や稼働率の向上につながる配置を行う。

2) 整備の進め方

西部分所の平成28年度の開所に向け、新総合療育センター（本体）よりも早期の整備スケジュールを実施する。医療機器・備品整備の際は工事に係る工程との整合を図り、必要な医療機器の整備に向けて、適切なタイミングで機器調達を行う。

【概略スケジュール】

時期	内容
平成26年度	●機器・什器ヒアリング ●配置計画（レイアウト図）作成
平成27年度	●調達計画作成 ●仕様書作成 ●搬入、据付
平成28年度	●西部分所開所

(2) 情報システム

西部分所の情報システムは、平成28年度の開所時に医事会計システム等を導入し、平成30年度の新総合療育センター（本体）の開所に合わせて情報システムを構築する。

情報システムの整備方針に関しては、新総合療育センター（本体）の整備方針と同様とする。

【概略スケジュール】

時期	内容
平成26年度	●医事会計システム等の導入検討 ●調達仕様書作成 ●ベンダー選定
平成27年度	
平成28年度	●西部分所での医事会計システム等稼働
平成29年度	●新総合療育センター（本体）と連携する情報システムの検討・構築
平成30年度	●リハーサル・研修 ●新総合療育センター（本体）との連携稼働、本格運用

5 概算事業費

- 約5億円

※改修設計費（工事監理含む）・改修工事費・医療情報システム等導入費・医療機器等整備費など

6 整備スケジュール

平成25年度 : 基本計画
 平成26年度 : 基本・実施設計
 平成27年度 : 改修工事
 平成28年度 : 開所

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
西部分所	基本計画	基本・実施設計	工事	開所・運用		

用語集

1 注意欠陥・多動性障害

多動性、不注意、衝動性を症状の特徴とする発達障害もしくは行動障害である。ADHD (Attention Deficit/Hyperactivity Disorder) と略される。

2 学習障害

基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指す。LD (Learning Disabilities) と略される。

3 自閉症

先天性の脳機能障害とされる、社会性や他者とのコミュニケーション能力に困難が生じる障害の一種。

4 広汎性発達障害

社会性の獲得やコミュニケーション能力の獲得といった、人間の基本的な機能の発達遅滞を特徴とする「発達障害における一領域」のことである。PDD (Pervasive Developmental Disorders) と略される。

5 重症心身障害児（者）

重症心身障害児（者）とは、重度の知的障害及び重度の肢体不自由が重複している児（者）をいう。

6 構造耐震指標

耐震指標はI s 値 (Seismic Index of Structure) で表される。耐震改修促進法ではI s 値0.6以上についての安全性とは「地震の震動及び衝撃に対し倒壊し、又は崩壊する危険性が低い」と評価される。

災害拠点病院を除く一般病院に求められるI s 値の目標は、基準値0.6×1.25倍の0.75以上とされている。学校の場合は避難場所になることから、文部科学省は学校の建物について、0.7以上のI s 値を求めている。

7 療育

療育については、関係法令等において具体的な定義はされていないが、ここでは、障害のある子どもがどうすれば生活しやすいのかなど、治療や日常生活活動を通して、持っている機能

を高める等社会的に自立することをめざして行われる医療・保育・教育活動を総称している。
療育環境とは、そうした支援を受けられる環境をいう。

8 **CT**

Computed Tomography（コンピュータ断層撮影）の略称。放射線などを利用して物体を走査しコンピュータを用いて処理することで、物体の内部画像を構成する技術、あるいはそれを行うための機器。

9 **MRI**

Magnetic Resonance Imaging（核磁気共鳴画像法）の略称。核磁気共鳴現象を利用して生体内の内部の情報を画像にする方法。

10 **パントモ撮影**

主に、歯や歯周組織全体の様子や顎の関節、上下顎骨の状態を観る目的で行う、歯全体、顎全体、鼻腔を1枚の断層写真として撮影したもの。

11 **セファロ撮影**

セファログラム（Cephalogram）側貌規格レントゲン写真ともいい、あごの骨の形や大きさ、歯の生え方などを定量的に分析するためのレントゲン撮影法・レントゲン写真。

12 **放射線科情報システム（RIS）**

Radiology Information Systemの略称。主に放射線機器による検査と治療の予約から検査結果までの管理を行うシステム。

13 **画像保存通信システム（PACS）**

Picture Archiving and Communication Systemsの略称。DICOM送信機能を持つ医用画像機器から画像データを受信し、データベースに保存したり、特定の画像データを抽出し、転送したりする。

14 **ユニットケア**

配属された職員が患者・入居者・利用者の看護・介護・要望・苦情に迅速かつ柔軟に判断・対応ができるよう、規模を縮小した看護・介護の提供態勢。

15 **スヌーズレン**

さまざまな器材を用いて、視覚・聴覚・嗅覚などを心地よく刺激する多重感覚環境を創出して、興味のある活動を引き出したり、あるいは、リラックスを促したりする活動。スヌーズレン (Snoezelen) の語源は、「クンクンにおいを嗅ぐ」というスヌッフエレン (Snuffelen) と「ウトウトする」というドウズレン (Doezelen) という2つのオランダ語からなる合成語である。

16 **レスパイト**

一時的中断、休息、息抜きを意味する。レスパイトケアとは、乳幼児や障害者、高齢者など要介護者を在宅でケアしている家族の精神的疲労を軽減するため、一時的にケアの代替を行うサービスのことをいう。

17 **ターミナルケア**

緩和ケアとも称される治癒困難な患者と家族を対象とした、身体・精神両面の終末期ケア。

18 **新調理システム**

新調理システムとは、以下の調理法を総じて言った呼称。

①クックサーブ (Cook Serve)

従来から行われている調理法で、加熱等の調理後、すぐに供する調理法のこと。

②クックチル (Cook Chill)

調理加熱後、急速冷却することにより、食中毒の危険性を減らし、一定期間の保存に耐えられるようにした調理法。

19 **ドライシステム**

床に水を流さずに乾いた状態で調理や洗浄作業を行う方式。対比としてウェットシステム (床に水を撒いた後も、常に床が水で濡れている状態) がある。調理場内の床を乾燥した状態に保つことによって、跳ね水による二次汚染を防ぎ、また、調理場内の湿度を低く保ち、細菌・カビ・衛生害虫の生存や繁殖がしにくい環境を作り、食中毒の発生要因を少なくする方式。

20 **P F I**

Private Finance Initiative の略称。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う事業手法。

²¹ **ライフサイクルコスト**

一般的には、製品を購入してから廃棄するまでの全生涯で発生した費用。特に建物の場合には、建物を企画・設計・建築し、建物を維持管理して、最後に解体・廃棄するまでの、建物の全生涯に要する費用の総額をいう。

²² **S P C**

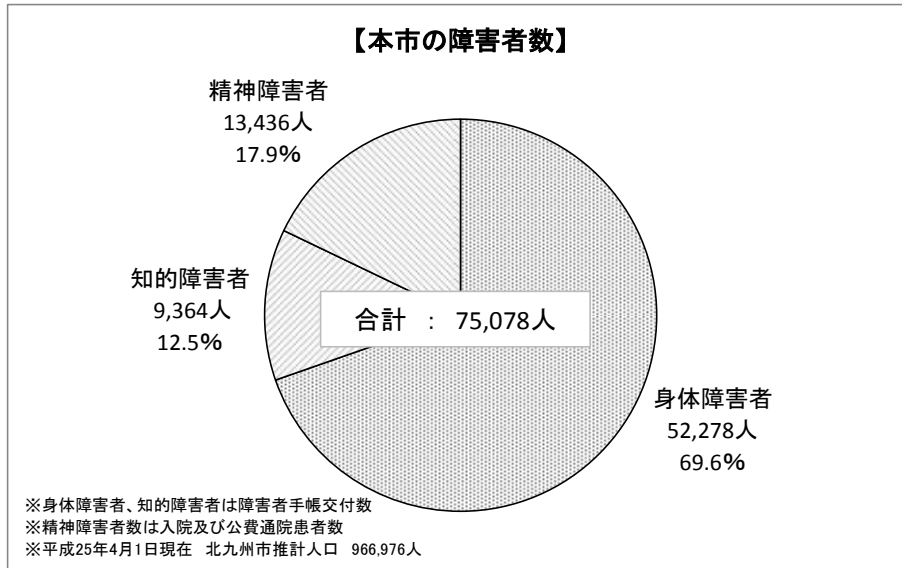
Special Purpose Company の略称。P F I 事業者が設立する特別目的会社。

<資料編>

1 北九州市における障害者の状況

(1) 北九州市の障害者数

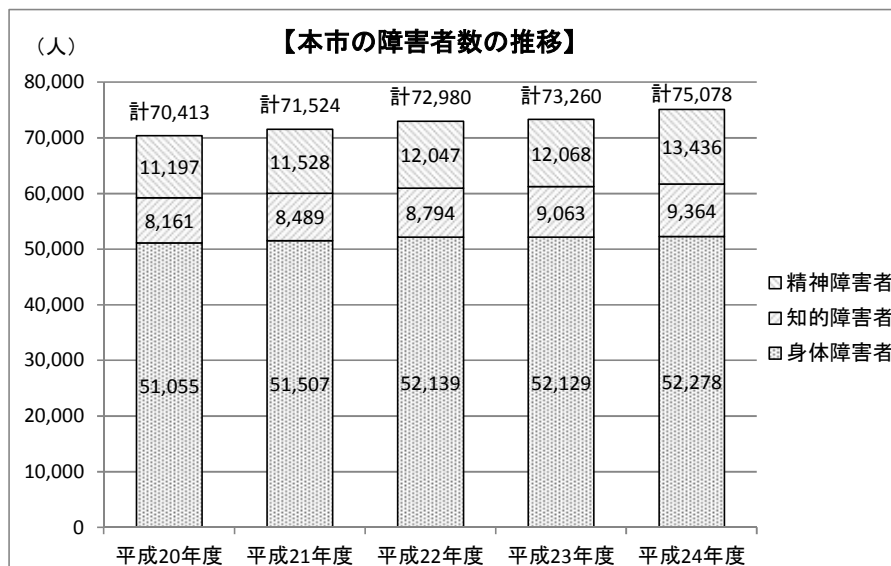
平成25年3月31日現在の北九州市（以下「本市」という。）の障害者数は、75,078人であり、総人口（平成25年4月1日現在 本市推計人口 966,976人）の約7.8%となっている。その内訳は、身体障害者が52,278人（69.6%）、精神障害者が13,436人（17.9%）、知的障害者が9,364人（12.5%）となっている。



出典：北九州市障害者支援計画 他

(2) 障害者数の推移

本市の障害者数について、平成20年度から平成24年度までの推移をみると、身体障害者数が1,223人の増加（10.2%）とほぼ横ばいなのに対して、知的障害者数は1,023人の増加（11.4%）、精神障害者数は2,239人の増加（11.9%）と年々増加傾向にある。



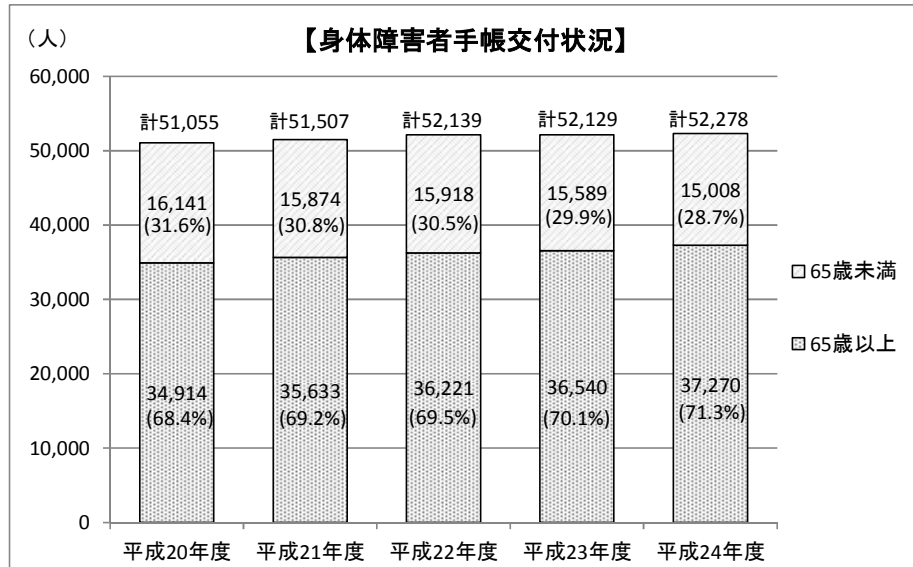
出典：北九州市障害者支援計画 他

2 障害別の状況

(1) 身体障害者

1) 身体障害者手帳交付状況

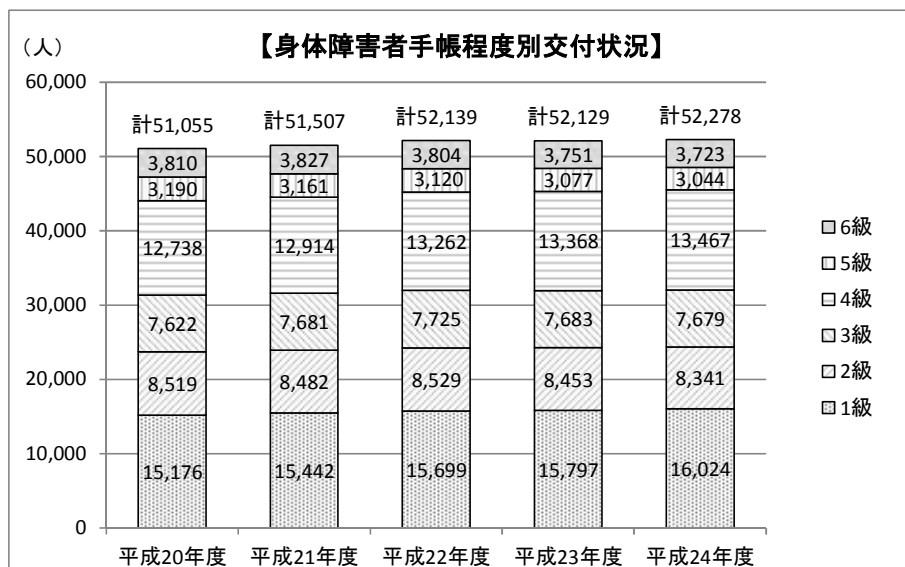
本市の身体障害者数は、平成24年度で52,278人となっており、障害者の69.6%、総人口の約5.4%にあたる。また、平成20年度から平成24年度までの推移をみると、65歳以上が増加傾向、65歳未満が減少傾向にある。



出典：北九州市障害者支援計画 他

2) 身体障害者手帳程度別交付状況

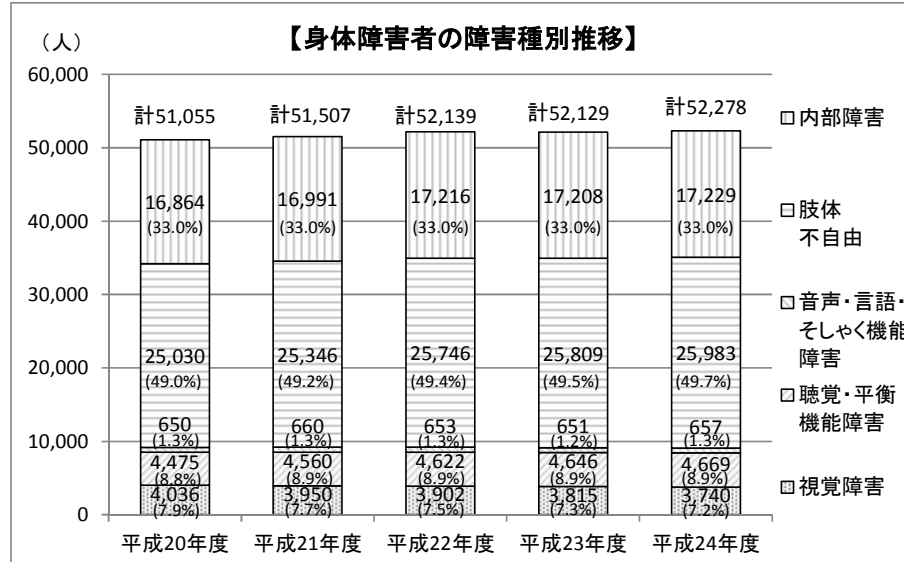
平成20年度から平成24年度までの推移をみると、全体数が増加しているが、1級・4級は年々増加しているのに対し、2級・5級・6級は減少傾向にあり、各等級によって増減傾向にばらつきが見られる。



出典：北九州市障害者支援計画 他

3) 身体障害者の障害種別状況

平成20年度から平成24年度までの推移をみると、視覚障害がやや減少傾向にあるが、その他はほぼ横ばいである。

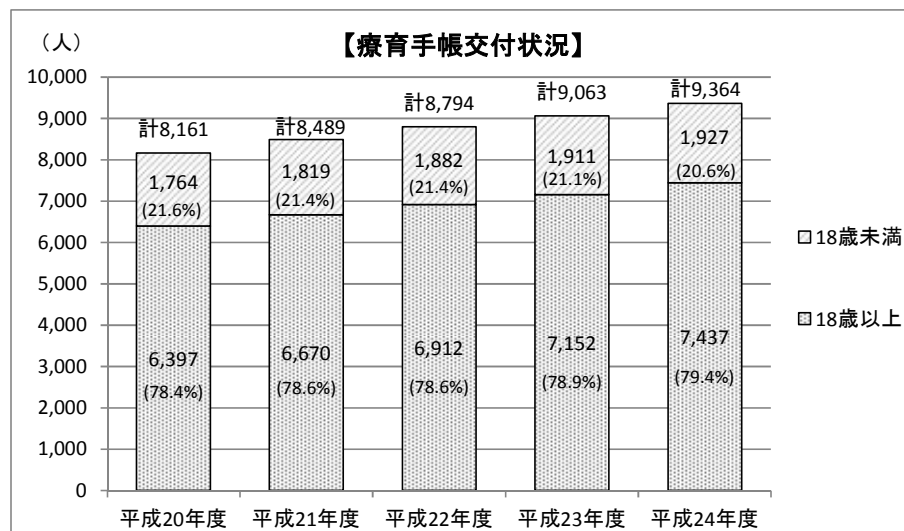


出典：北九州市障害者支援計画 他

(2) 知的障害者

1) 療育手帳交付状況

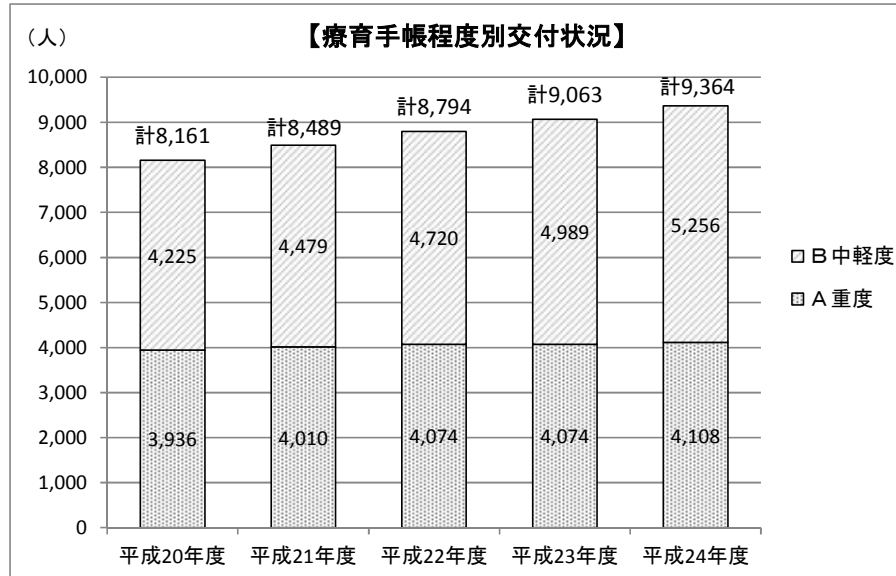
本市の知的障害者数は、療育手帳を所持していない知的障害者もいるため、実数を把握することは困難だが、療育手帳交付状況によると、平成24年度で9,364人となっており、障害者の12.5%、総人口の約1.0%にあたる。また、平成20年度から平成24年度までの推移をみると、18歳以上の交付数が1,040人の増加(116%)、18歳未満の交付数が163人の増加(109%)となっている。



出典：北九州市障害者支援計画 他

2) 療育手帳程度別交付状況

平成20年度から平成24年度までの推移をみると、A（重度）が172人増加（104%）、B（中軽度）が1,031人増加（124%）と、特に中・軽度の知的障害者数が増加傾向にある。



出典：北九州市障害者支援計画 他

(3) 精神障害者

1) 精神障害者保健福祉手帳交付状況

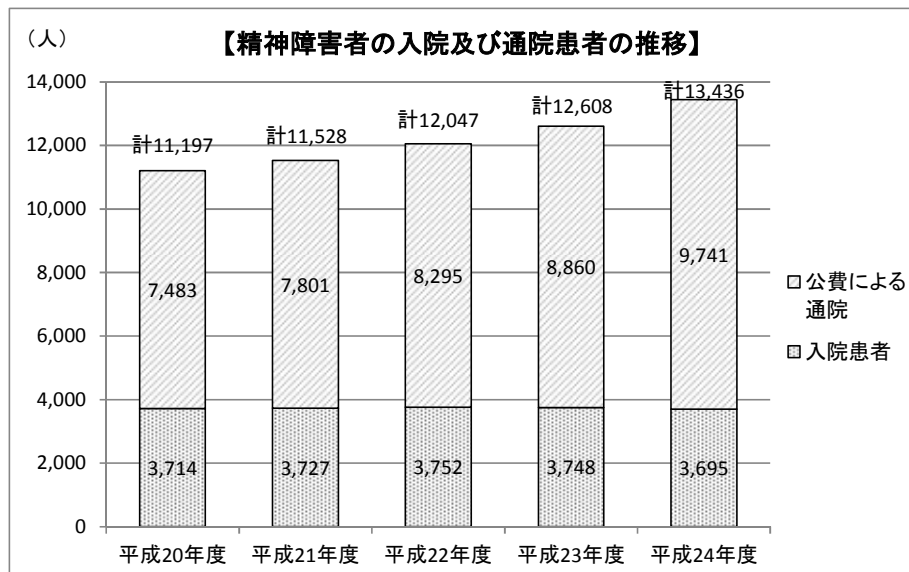
精神障害者数は、知的障害者と同様に精神障害者保健福祉手帳を取得していない人も多いことなどから実数を把握することは難しいが、入院患者数及び公費通院患者数でみると、平成24年度で13,436人となっており、障害者の約17.9%、総人口の約1.4%にあたる。

また、平成20年度から平成24年度にまでの推移をみると、入院患者が19人減少（99%）とほぼ横ばいであるが、公費による通院は2,258人増加（130%）しており、大幅に増えている。

【精神障害者の入院及び通院患者の推移】

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
入院患者	措置入院	19	11	11	18	11
	医療保護入院	973	987	1,003	1,017	1,039
	任意入院	2,722	2,727	2,737	2,712	2,641
	その他	0	2	1	1	4
	小計	3,714	3,727	3,752	3,748	3,695
公費による通院		7,483	7,801	8,295	8,860	9,741
合計		11,197	11,528	12,047	12,608	13,436

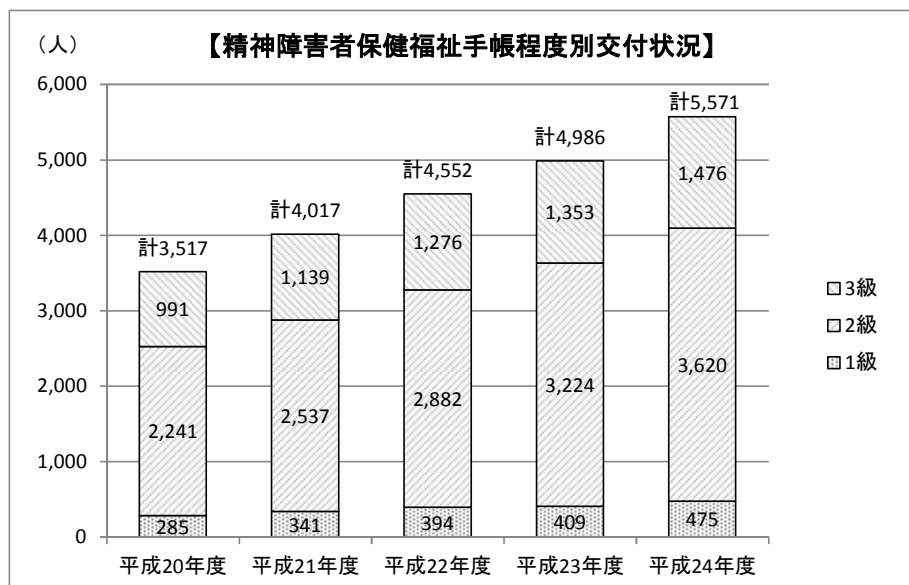
出典：北九州市障害者支援計画 他



出典：北九州市障害者支援計画 他

2) 精神障害者保健福祉手帳程度別交付状況

平成24年度の交付状況は5,571人で、平成20年度から平成24年度までの推移をみると、全体では2,054人増加（158%）となっており、どの等級においても増加傾向にある。



出典：北九州市障害者支援計画 他

3 北九州市立総合療育センター再整備基本計画等アドバイザー会議

(1) 構成員名簿（五十音順・敬称略）

氏名	所属・役職
市川 光太郎	北九州市立八幡病院院長
伊野 和子	北九州市特別支援学校PTA連合会会長
桐原 真由美	保護者代表
見田 さちこ	北九州市立総合療育センターうさぎ通園親の会代表
佐伯 満	北九州市立総合療育センター所長
野依 啓多	北九州市立小倉南障害者地域活動センター長
◎ 蜂須賀 研二	産業医科大学教授
○ 村上 吉博	北九州市医師会副会長
山根 正夫	西南女学院大学教授
吉田 ゆかり	小児科医

※◎は座長、○は副座長

(2) 検討経過

①第1回アドバイザー会議（平成25年8月12日）

- 座長・副座長選出
- 現施設の現状及び課題について
- 再整備基本方針について
- 再整備基本計画の主な内容（想定）

②第2回アドバイザー会議（平成25年11月12日）

- 新施設の全体計画（案）について
- 部門別計画（案）について

③第3回アドバイザー会議（平成26年1月7日）

- 施設整備計画、整備スケジュール、整備費用、整備手法について

④第4回アドバイザー会議（平成26年2月18日）

- 北九州市立総合療育センター再整備基本計画（案）について

北九州市立総合療育センター
再整備基本計画（案・修正後）

北九州市保健福祉局障害福祉部障害福祉課
〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号
TEL 093-582-2424 FAX 093-582-2425